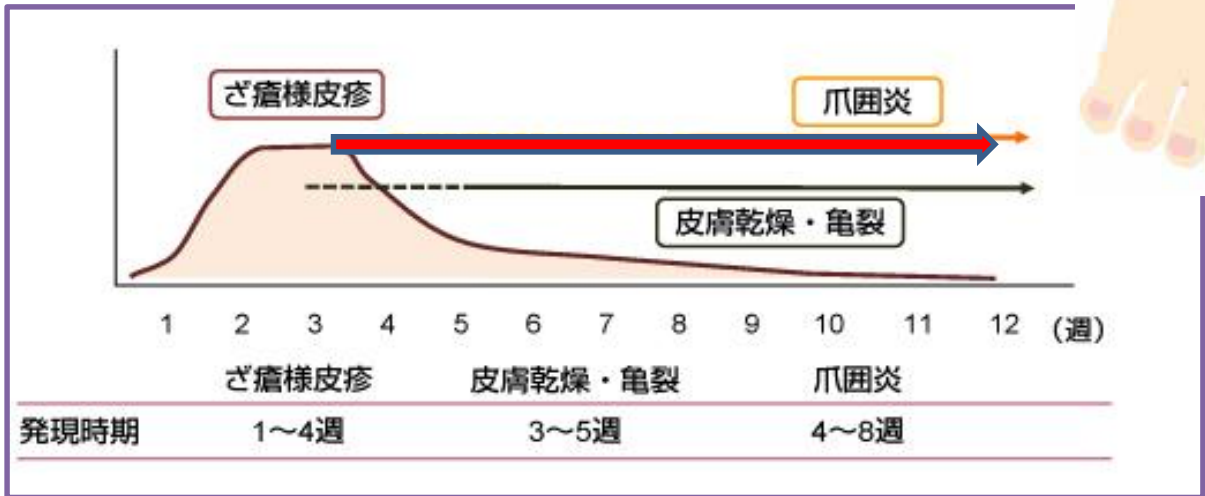


爪囲炎（爪周りの炎症）

●原因となりやすい薬

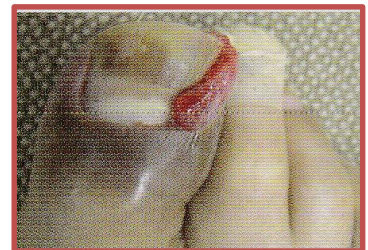
ベクティビックス®、アービタックス®、タルセバ®などの薬剤を使用する治療で起こりやすい症状です。

●生じやすい時期



投与後4~8週程度から発現し、6カ月頃までみられます。

●症状



手足の爪の周りに亀裂が生じ赤く腫れて痛みがでます。

悪化すると痛みが増して日常生活に支障がでます。

● 日常生活で気を付けること



保湿

(皮膚に潤いを与える)

保清

(皮膚を清潔に保つ)

保護

(皮膚への刺激を避る)

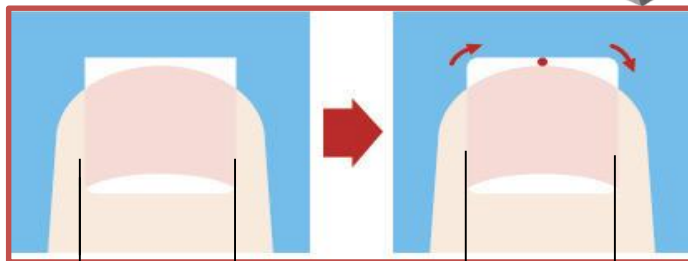
治療開始と同時にスキンケアをすることで爪囲炎を起こしにくくしたり症状を軽くすることができます！

● 生活の工夫

- 手洗い後は保湿クリームを塗り直しましょう。爪にも塗ると保湿効果が高まります。
- 爪がもろくなるのを防ぐ為マニキュアをぬって保護しましょう。(爪の周りに炎症や痛みがあるときは避けてください)
- 薄い綿の手袋や靴下で保護しましょう。
- 靴はスニーカーなどのしめつけず底のやわらかいものにしましょう。
- 爪はスクエアカットにし皮膚に食い込まないようにしましょう。



スクエアカットとは・・・



白い部分を1mmほど残し四角く切りやすりで整える方法です。

● 医療者に報告して欲しいこと



手足の指先の腫れや、ヒリヒリ・チクチクといった感覚異常、痛み、亀裂、爪のひび割れが生じ日常生活に支障が生じた時。